

## 柔道整復科

## 運動学 2

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	後藤勝正			実務経験	無	職種					

## 授業概要

基礎力学や身体の動きや歩行のメカニズムを学びます。

## 到達目標

柔道整復の特性を考慮して、骨・関節・筋の構造と機能に重点をおきつつ、運動学による姿勢や歩行の評価を学ぶことで医療現場における患者への指導管理の土台を形成することを目標にしている。

## 授業方法

人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である運動学を学ぶことで、運動障害をもつ患者を診て施術を行うための、人間の運動にかかわる身体の機能と構造についての基本的な知識を備える能力を育成する。

## 成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

## 履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

## 教科書教材

教科書は「運動学」を持参する。必要に応じて資料を配布する。

回数	授業計画
第1回	運動発達①（神経組織の成熟と乳幼児期の運動発達）
第2回	運動発達②（小児歩行の特徴）
第3回	運動学習①（運動学習や運動技能と運動能力）

第4回	運動学習②（運動技能学習の過程と学習曲線）
第5回	上肢帯の運動肩関節の運動（上肢帯に関与する骨・筋・関節の構造や機能）
第6回	肘関節と前腕の運動（肘関節や前腕に関与する骨・筋・関節の構造や機能）
第7回	手関節と手の運動①（手関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能）
第8回	7回までの振り返りと確認演習
第9回	手関節と手の運動②（手の筋活動と関節運動）
第10回	股関節の運動（股関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能）
第11回	膝関節の運動（膝関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能）
第12回	足関節の運動（足関節に関与する骨・筋・関節の構造や機能）
第13回	体幹と脊柱の運動（体幹と脊柱の運動に関与する骨・筋・関節の構造や機能）
第14回	13回までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ